

小学校1年生
国語科「たぬきの糸車」
生活科「むかしから つたわる
あそびを たのしもう」

《教科書》
こくご 下:p44~55
あたらしい せいかつ 上:p100、101

1. 『ねらい』

【国語科】生活体験館で「声のドラマ」の会の方による「たぬきの糸車」の朗読を聴くことで、場面のように
ついてや登場人物の行動を想像することができる。…など

【生活科】身近にあるものを使い、遊びや遊びに使うものを工夫してつくり、その面白さや不思議さに気付き、
みんなで遊びを楽しむことができる。…など

【博物館】生活体験館(まゆの家)では昔の家の約束や道具を知り、生活の雰囲気を感じることができる。

3:人数	4:活動月	5:活動時間
約70名/1日あたり	1~3月	半日(9:00頃~12:00頃)

2:児童の服装・持ち物 暖かい服装

6:必要な人員の目安 学習係、みのかも「声のドラマ」の会、ボランティア

7. 学習内容

事前の学習

【国語科】
・「たぬきの糸車」の音
読…など

【生活科】
・「ぶんぶんごま」がど
んな遊び道具である
か理解している。
・ひもの結び方を練習
している。…など

事後の学習

【国語科】
・「声のドラマ」の会の方
の朗読を思い出した
り、「まゆの家」を想像
したりして音読する。
…など

【生活科】
・「ぶんぶんごま」を家
族や友達と一緒に遊
んだり作ったりする。
…など

時間	1組	2組	場所	先生(T1)	学習係(T2)	「声のドラマ」の会(T3)
10分間	◆文化の森到着		正面玄関	安全確保		
10分間	◆始めの会 ・ボランティア、学習係の紹介 ・学習係から注意事項 ・先生の話 ・トイレ、荷物を置く		エントランスホール	・司会 ・ねらいの確認		・自己紹介
50分間	◆活動A:たぬきの糸車 ・絵を見ながら「たぬきの糸車」の朗読を聴く。 ・感想発表 ・糸車を回したり、板戸、板の間、土間などの見学をしたりする。	◆活動B:ぶんぶんごま作り ※ ・作り方の説明を聞く ①紙を貼り合わせる。 ②穴あけ機で穴をあける ③穴に糸を通し結ぶ ④名前を書く。 ・ぶんぶんごままで遊ぶ。 ・感想交流を行う。片づけ	活動A:生活体験館(まゆの家) 活動B:工芸室	活動ABC ・整列、移動の指示 ・文化の森での約束を守るように声かけをする。 ・安全確保	活動ABC ・スライドショーの上映 ・まゆの家、見学時の誘導 ・糸車体験の声かけ 活動B ・作り方の説明 ・安全確保	活動A ・「たぬきの糸車」の朗読 ・糸車体験の声かけ
10分間	◆トイレ休憩 移動		活動C:芝生広場			
50分間	◆活動B:ぶんぶんごま作り ※	◆活動C:むかしあそび ※	研修室		活動C ・遊ぶ場所への誘導 ・注意事項 ・安全確保	
10分間	◆トイレ休憩 移動		休憩 エントランスホール			
50分間	◆活動C:むかしあそび ※	◆活動A:たぬきの糸車				
10分間	◆トイレ休憩					
10分間	◆終わりの会 ・児童の感想 ・ボランティアの話 ・学習係の話 ・先生の話		エントランスホール	・司会 ・学習のまとめ		・感想
	◆文化の森出発		正面玄関			

8. 安全面への配慮

・活動B、Cでは周囲への安全やケガに注意して道具を使う。※

10. 雨天時の活動予定

・活動Cでは、おはじき、かるた、けん玉など室内で行える遊びに変更します。

11. 備考

・「たぬきの糸車」の朗読は、みのかも「声のドラマ」の会の方をお願いします。静かに朗読が聴けるよう事前指導をお願いします。

9. 用意する物

学校	【活動B】タコ糸または水糸(1人:約110cm×児童数) 【その他】救急セット
文化の森	【活動A】糸車、パソコン、プロジェクターなど 【活動B】穴あけ機、木工用ボンド、針金、厚紙 【活動C】竹ンボ、お手玉、竹馬、竹ぼうり、ヨーヨー、けん玉 (雨天時:おはじき、けん玉、かるた)など 【その他】救急セット

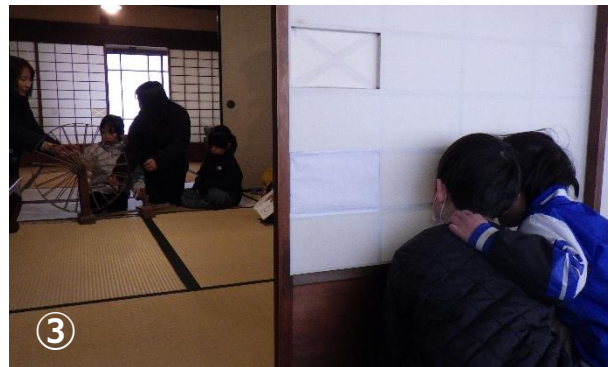
12. 2025年度実践校一覧 ※アルファベットの学習内容に対応しています。

月	日	日程	学校名	学級数	人数	単元名	学習内容
12	4 5	午前	太田小	1 2	28 59	「たぬきの糸車」 「むかしからつたわるあそびをたのしもう」	A:たぬきの糸車 B:ぶんぶんごま作り C:むかしあそび
1	23	午前	山之上小	1	5	「たぬきの糸車」 「むかしからつたわるあそびをたのしもう」	A:たぬきの糸車 B:ぶんぶんごま作り C:むかしあそび
1	27 28	午前	古井小	2 2	62 61	「たぬきの糸車」 「むかしからつたわるあそびをたのしもう」	A:たぬきの糸車 C:むかしあそび
1	30	終日	伊深小 三和小	1 1	7 5	「たぬきの糸車」 「むかしからつたわるあそびをたのしもう」	A:たぬきの糸車 B:ぶんぶんごま作り C:むかしあそび、その他:冬の森ゴンドラ
2	4 5	終日	加茂野小	2 2	61 63	「たぬきの糸車」 「むかしからつたわるあそびをたのしもう」	A:たぬきの糸車 B:ぶんぶんごま作り C:むかしあそび
2	20	午前	蜂屋小	2	54	「たぬきの糸車」 「むかしからつたわるあそびをたのしもう」	A:たぬきの糸車 C:むかしあそび
3	6	終日	山手小	3	91	「たぬきの糸車」 「むかしからつたわるあそびをたのしもう」	A:たぬきの糸車 B:ぶんぶんごま作り C:むかしあそび

13. 学習のようす



「おかみさん」になりきって糸車を回します。



「敷居をまたぐ」など、約束ごとを聞いて、まゆの家に入ります。



- ① 朗読を聴く、障子に映した景絵のスライドを見る
- ② 糸車を回す
- ③ 障子の隙間から糸車をまわす様子をのぞく
- ④ 敷居をまたいでまゆの家に入る様子
- ⑤ ぶんぶんごま作りの様子
- ⑥ 昔遊び(ぶんぶんごま)
- ⑦ 昔遊び(けんたま)
- ⑧ 昔あそび(リムまわし)

14. 活動について

《糸車の体験と音読》

・お話に出てくる糸車を実際に回してみることで、物語に登場する「キーカラカラ キークルクル」という音をイメージしやすくなります。

・縁側から糸車をまわす様子をのぞく「たぬき」役と、糸車を回す「おかみさん」役になりきることで、より「たぬきの糸車」の場面に入り込むことができます。



糸車の使い方のお話、糸のつむぎかたのお話をします

《まゆの家のお話》

・まゆの家へ入る前に、見学時の注意として「敷居をまたぐ」ということをお話します。

・「たぬきの糸車」の話に合わせて、板の間、土間を見学します。そして、最後の場面「ぴよこんと そとに とび下りました」から連想される縁側の前から、たぬきになりきって踊りながら森へ帰って行く場面を再現します。おかみさんの生活していた山奥の一軒家の雰囲気になれることで、物語の世界をよりイメージしやすくなります。

『カニサイのひとりごと』

- ★子どもたちに糸車の音を聞いた感想を聞くと、「本当にキーカラカラと音がする!」という子どもや、「想像していた音とちがった」という子どももいて、感じることは人それぞれでした。事前に、糸車の音についても想像を膨らませておくと、本物を前にしたときの感動が大きくなると思います。
- ★まゆの家では、自然に正座になって、姿勢よく糸車を回したり、お話を聞く姿が見られました。かまどの煙でいぶされたにおい、鳥の声、畳の手ざわりなども味わいました。

